

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

平成24年度 事業報告書

平成24年度における事業実施状況は、次のとおりである。

1 諸会議の開催

平成24年度において、事業の振興等を図るため、次の会議を開催した。

(1) 総 会	通常総会	平成24年	5月 9日(水)	佐賀県
	臨時総会	平成24年	9月30日(日)	東京都
(2) 理 事 会	第1回	平成24年	4月19日(木)	東京都
	第2回	平成24年	5月 9日(水)	佐賀県
	第3回	平成24年	8月29日(水)	東京都
	第4回	平成24年	9月30日(日)	東京都
	第5回	平成25年	3月25日(月)	東京都
(3) 常務理事会	第1回	平成24年	8月21日(火)	東京都
(4) 医療問題検討委員会	第1回	平成24年	7月15日(日)	東京都
	第2回	平成24年	8月29日(水)	東京都
	第3回	平成24年	12月22日(土)	東京都
(5) 学術委員会	第1回	平成24年	5月 9日(水)	佐賀県
	第2回	平成24年	7月16日(月)	大阪府
	第3回	平成24年	10月 4日(木)	兵庫県
(6) 機構改革特別委員会	第1回	平成24年	6月24日(日)	東京都
	第2回	平成24年	7月22日(日)	東京都
	第3回	平成24年	10月28日(日)	東京都
	第4回	平成25年	3月25日(月)	東京都

(7) 全国施設協議会プログラム委員会

第1回 平成24年12月13日(木) 東京都

2 全国重症心身障害児施設長会議

平成24年5月10日(木)11日(金)佐賀県佐賀市において、厚生労働省、佐賀県、佐賀市の後援を得て、当協会主催により開催した。

本会議は、全国124施設から施設長、事務(局・部)長及び総看護師長、関係行政機関の担当者等360名以上の方が参加した。

第1日目は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域移行・障害児支援室室長補佐 寺澤潔司氏の行政説明、「新しい法体系のもとでの重症心身障害児施設の今後の選択肢」という協議題でシンポジウム形式での全体協議(シンポジストは木実谷哲史・協会常務理事、平元東・北海道療育園園長、本重博史・やまびこ医療福祉センター理事長、大友正明・済生会明和病院なでしこ事務長、西藤武美・東京小児療育病院みどり愛育園看護部長、秋山勝喜・重症心身障害児(者)を守る会副会長、末光茂・旭川荘理事長)、精神科医師 和田秀樹先生から「介護者のメンタルヘルス ~ 共倒れにならず、支えあう介護について」の特別講演が行われ、2日目は、堺市立重症心身障害者(児)支援センター ベルデさかいの児玉和夫センター長から「平成24年度診療報酬改定について」の講演、平成22年度超重症児(者)・準超重症児(者)実態調査集計報告、日本重症児福祉協会重症心身障害認定看護師制度報告、東・西重症心身障害児施設協議会会議報告、全国重症心身障害日中活動支援協議会報告が行われた。

3 全国重症心身障害児施設職員研修会の実施

平成24年度職員研修会は厚生労働省の後援を得て次のとおり実施した。

なお、看護師研修会、栄養士・調理師研修会、医療技術管理研修会、保育士・児童指導員研修会及び施設管理研修会については、財団法人JKAの競輪公益資金補助事業として実施した。

(1) 看護師研修会

平成24年 9月12日(水)~14日(金) 大阪府 参加者119名

(2) 栄養士・調理師研修会

平成24年10月17日(水)~19日(金) 大阪府 参加者127名

(3) 医療技術管理研修会

平成24年11月14日(水)~16日(金) 大阪府 参加者168名

(4) 看護管理研修会

平成24年11月28日(水)～30日(金) 石川県 参加者127名

(5) 保育士・児童指導員研修会

平成24年12月5日(水)～7日(金) 大阪府 参加者136名

(6) 施設管理研修会

平成25年1月23日(水)～25日(金) 大阪府 参加者195名

4 第23回重症心身障害療育学会学術集会の開催

平成24年10月4日(木)、5日(金)神戸市において厚生労働省、兵庫県、兵庫県社会福祉協議会、読売光と愛の事業団等多くの関係団体等の後援を得て開催した。

平成17年度に重症児施設療育研究大会を学術集会にして8年目で、513名の参加者があり、一般演題103題が発表された。本年度も社会福祉法人読売光と愛の事業団から優秀な研究発表に療育最優秀賞1施設、療育敢闘賞3施設が選出され、表彰並びに助成金が贈られた。

5 東日本及び西日本重症心身障害児施設協議会の開催

東日本重症心身障害児施設協議会(第39回)は、平成24年11月8日(木)、9日(金)の2日間、岩手県盛岡市において開催され、55施設137名が参加した。

西日本重症心身障害児施設協議会(第33回)は、平成24年11月21日(水)、22日(木)の2日間、沖縄県那覇市において開催され、58施設186名が参加した。

6 公益社団法人への移行

平成20年12月から新しい公益法人制度が施行されたことに伴い、当協会の公益社団法人への移行について、理事会や通常総会での議論の結果、機構改革特別委員会を設置して数次に亘る検討を重ね、理事会や平成24年9月30日の臨時総会の決議を経て、平成24年10月24日内閣府公益等認定委員会へ移行申請を行った。

平成25年3月15日内閣府公益認定等委員会から公益社団法人移行認定の答申並びに平成25年3月27日内閣総理大臣から公益社団法人認定書の交付があり、

平成25年4月1日から「公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会」へ移行することになった。

7 重症心身障害児施設永年勤続者の表彰

重症心身障害児施設に勤務する10年以上の勤続者450名に対し、永年の功績が称えられた。

8 日本重症児福祉協会認定重症心身障害看護師の認定書の授与

第1回日本重症児福祉協会認定重症心身障害看護師合格者47名に対し、認定証の授与が行われた。

9 全国重症心身障害児施設実態調査の実施

全国重症心身障害児施設実態調査は、例年どおり読売光と愛の事業団からの助成を受け、各施設のご協力を得て実施した。この集計結果については「全国重症心身障害児施設実態調査」として取りまとめ、全施設並びに行政機関等に有料配布し、施設入所児（者）の療育の向上に資するとともに行政機関等の参考資料とした。

10 超重症児（者）、準超重症児（者）の実態調査の実施

施設における超重症児（者）及び準超重症児（者）の実態は、全国重症心身障害児施設実態調査とは別に各施設のご協力を得て調査を行い、施設における療育の向上に資するため、全国重症心身障害児施設長会議において調査結果を報告した。

11 関係機関及び関係団体との連絡、連携の強化

全国社会福祉協議会・障害関係団体連絡協議会に加入し、関係予算確保対策等の活動への参加並びに全国重症心身障害児(者)を守る会、全国肢体不自由児施設連絡協議会等関係団体との相互の連携を行い事業の推進に努めた。

12 機関紙の発行

機関紙「重症児とともに」は、138号～140号を発行した。